

NHK「字幕は誤り」

「放送の意味合いの認識欠落」

6人処分

NHKのBS1「スペシャル」(河瀬直美が見つめた東京五輪) (昨年12月放送) が事実と異なる字幕を付けた問題で、NHKは10日、

放送倫理・番組向上機構(BPO)の放送倫理検証委員会(小町谷育子委員長)は同日、「放送倫理違反の疑いがある」として審議入りを決めました。

BPOが審議へ

放送倫理・番組向上機構(BPO)の放送倫理検証委員会(小町谷育子委員長)は同日、「放送倫理違反の疑いがある」として審議入りを決めました。

「い」と陳謝しました。

番組制作を担当した大阪拠点放送局の30代のディレクターと40代のチーフ・プロデューサー(CP)ら6人を懲戒処分にしました。

同番組は、東京五輪公式映画の総監督を務

める河瀬さんらに密着。映画スタッフがあ

る男性を取材した場面で、「五輪反対デモに参加している」という男

性」「実はお金をもらつた」と結論付けました。

報告書によると、内容を確認する試写は複数回行われ、CPは字幕の事実確認をするようディレクターに指示されました。しかし、「反対デモに行く可能性がある」と話してい

たため、ディレクターは追加取材を行わなかっただといいます。試写

が五輪反対デモに参加したという確証は得られなかった」と結論付けて動員されていると打ち明けた」との字幕が付けられました。

放送直後から問い合わせや批判が寄せられ、NHKは1月に調査チームを立ち上げ、関係者にヒアリングを実施。これまでには、

「字幕の一部に不確かな内容があった」として、関係者にヒアリングを実施。これまでには、